取扱説明書

LED式視力検査器　RC−90

※測定準備

組立の時点で本体上部2箇所のユリアネジを外し、乱視色盲表を取り付けて下さい。

①コントロールBOXはACアダプターで、約3時間でフル充電できます。
（検査中に充電池容量が不足した場合は、ACアダプターを接続して使用して下さい。）

②付属の電源コードにて本体にAC100Vを接続し、本体の電源スイッチをONにします。

③ 5m/3m用、各タイプに合わせ被検者の立つ位置と測定者の位置を決めます。

【測定準備完了です】

※測定方法

①コントロールBOXの電源スイッチをONにし、本体下部受光器に向けて「0.1～2.0」 13個の測定ボタンで

②13個の測定ボタンは、1箇所を4回押す事によりランダムに4箇所を投影しコントロールBOXにその標示をします。
（標示は本体、コントロールBOX共に約15秒で消灯します。）

③斜め入り8方向C環表（標準）と斜め無し4方向C環表、各仕様に対するコントロールBOXの操作方法
（1）電源をONにする･･･測定開始
斜め入り8方向C環表（標準）をコントロールします。
（2）測定ボタン2.0を押しながら電源をONにする･･･測定開始
斜め無し4方向C環表をコントロールします。

④文部省指示の4段階測定法にて測定する場合 0.3 0.7 1.0の測定ボタン赤色のみを使用します。
（Ａ Ｂ Ｃ Ｄ ランクも標示しています。）

【4段階判定基準】

判定	視標	事後措置
A 1.0以上	1.0の視標が判別できた	学業に支障なし
B 0.7～0.9	1.0の視標は判別できなかったが 0.7の視標は判別できた	学業に支障が生じる場合があるので 医師の診察を受ける事
C 0.3～0.6	0.7の視標は判別できなかったが 0.3の視標は判別できた	学業に支障があるので医師の診察を受ける事
D 0.3以下	0.3の視標が判別できなかった	

※その他

①視力表のメンテナンスは先ず、本体上部2箇所のユリアネジを外し乱視色盲表を取ります。
次に本体を机など平らな所へ移し、前部カバーのサイド4箇所のボルトを外せば前部カバーと視力表が外せます。
（アルコール又は、中性洗剤でお願いします。）

②スタンド式に限り、移動の際はスタンドから本体を外してお願いします。（フック式なので、あまり揺らすと外れてしまう恐れがあります。）

③視力表別売品 ¥9,000− を購入することにより8方向、4方向と2タイプの視力表を併用できます。

※付記　　　　視力0.1以下の簡易測定法

5m用/3m用、各視力表の0.1が読み取れる距離で測定します。

視力	0.1	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04	0.03	0.02	0.01
5m 用	5m	4.5m	4m	3.5m	3m	2.5m	2m	1.5m	1m	0.5m
3m 用	3m	2.7m	2.4m	2.1m	1.8m	1.5m	1.2m	0.9m	0.6m	0.3m